

# 情報セキュリティ対策（学生）

## パスワードの管理

- ◇ JASMINE アカウントやパソコン等のパスワードは、他の人に教えたり、貸したり、紙に書いて貼ったりしないでください。(JASMINE アカウントを使ってアクセスする情報には、JASMINE メールや JASMINE-Navi の履修登録・時間割照会・各学生向け掲示情報の閲覧などの個人情報が含まれています。)
- ◇ 生年月日といったような、推測しやすいパスワードは避けてください。パスワードは定期的に変更することを推奨します。
- ◇ ブラウザ上で ID やパスワードを保存することや、ログインを省略することは避けましょう。

## パソコンの管理

- ◇ 一時的にパソコンを離れる場合は、ログオフもしくはロックをして、他の人が勝手に使えないようにしておきましょう。
- ◇ コンピュータ演習室のパソコンを使い終わった場合は、シャットダウンをしてください。

## 個人情報・重要情報の保護

### 紛失・盗難

大切な情報を USB メモリ・メモ리카ード・CD/DVD・携帯電話/スマートフォン・ノートパソコン等に入れて持ち歩く場合は、紛失や盗難に気をつけましょう。

コンピュータ演習室では特に USB メモリの置き忘れや紛失が増えています。

### ホームページ・ブログ等

パソコンや携帯電話から、ホームページやブログなどに、住所・氏名・電話番号・大学名・就職先等の個人情報を書き込まないようにしましょう。<sup>ミクシィ</sup>mixi・<sup>GREE</sup>GREE・<sup>フェイスブック</sup>Facebook 等の SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)や <sup>ツイッター</sup>Twitter (簡易投稿ブログ)といった会員登録制のサイトでも情報が流出することがあります。(コンピュータ演習室は、予習・復習・レポートといった勉強優先のための空間です。込み合っている場合、mixiや Twitter 等の閲覧・書き込みはご遠慮ください。)

### インターネット

申込処理等インターネットから個人情報を発信する必要がある場合は、送信する情報が暗号化されているかどうか注意が必要です。例えば、SSL で通信が暗号化されている場合、ホームページのアドレスが「https://」となり、ウィンドウ右下のステータス欄に「鍵マーク」が表示されます。

### 電子メール

電子メールは、はがきと同じように、他人の目に触れる可能性があることに注意してください。電子メールやメーリングリストで、住所・電話番号・暗証番号・パスワードや名簿等、他の人に知られては困る情報をむやみに発信ないようにしましょう。

### パスワードの設定

パソコンや携帯電話はもちろんのこと、ファイルにもパスワードを設定することができます。万が一紛失や盗難にあった場合や、メールに添付して発信が必要な場合に、重要なファイルを盗み見される可能性を低くすることができます。

## 不特定多数の人が利用するパソコン

インターネットカフェ等において、キーボードの入力履歴を記録する「キーロガー」というソフトを利用して、他人の ID・パスワード等の個人情報を盗み、ネットバンキングに不正アクセスするという事件が発生しています。被害に遭わないために、不特定多数の人が利用するパソコンでは、JASMINE-Navi へのログインおよびクレジットカードによる買物や、パスワード・暗証番号の入力を必要とするサイトは利用しないなど、個人情報を送受信することは控えましょう。

また、不特定多数の人が利用するパソコンの設定を勝手に変えてしまうことは控えましょう。

## ウイルス対策

- ◇ 個人のパソコンには、ウイルス対策ソフトを導入してください。(コンピュータ演習室のパソコンには、ウイルス対策ソフトを導入しています。)
- ◇ ウイルス対策ソフトのパターンファイル更新、WindowsUpdate、各アプリケーションのアップデート等を行って、パソコンを最新の状態に保つようにしてください。パターンファイルが更新されていない場合、新しいウイルスには効果がありません。
- ◇ USBメモリやメモリカード経由でのウイルス感染が増えています。ウイルス対策がされていないパソコンに接続しないよう注意しましょう。
- ◇ メール添付やダウンロードされたファイル・フォルダ等で、出所が不明なものは開かないようにしてください。

## ファイル共有ソフト

ファイル共有ソフト(Winny など) の利用で、パソコンに含まれている個人情報が流出してしまう可能性があります。公開された情報の完全な回収や削除は不可能です。

安全対策に自信がない場合、ファイル共有ソフトの利用はしないでください。

## パソコン・CD/DVD・フロッピーディスク・書類等の廃棄

- ◇ パソコン …… ファイルを削除した状態や、ディスクをフォーマットした状態では、まだハードディスク上にデータが残っており、データ復元ソフトを使うと簡単に復元されます。パソコンを廃棄する際は、下記サイトなどからデータ完全消去用のソフトウェアを入手してデータを完全に削除してください。

- ・ Eraser(英語版) <http://www.heidi.ie/eraser/>

Mac の場合は、Apple 社のページなどで確認してください。

- ・ Apple 社 [http://www.apple.com/jp/legal/hdd\\_notice/index.html](http://www.apple.com/jp/legal/hdd_notice/index.html)

- ◇ CD/DVD・フロッピーディスク・USBメモリ・メモリカード …… パソコン同様に、フォーマットのみではデータ復元ソフトを使うと復元されてしまいます。重要な情報が入ったメディアは、記録部をはさみで切るなど読み取りができないように物理的に壊して廃棄してください。
- ◇ 書類 …… 名簿や成績など個人情報が記載された書類は、そのまま捨てるのではなく、必ずシュレッダーにかけてください。

## 関連情報 【ライセンス違反について】

違法コピーしたソフトウェアを使用する、許可されたライセンス数を上回るユーザーが同一ソフトウェアを使用するといった行為は、ライセンス違反にあたりますのでやめましょう。学生や教育機関向けに、アカデミック版として安い価格で提供されているソフトウェアもあります。

## 関連情報 【著作権について】

著作権については、下記のサイトをご覧ください。

- ・大学生のための著作権ガイド <http://www.jwu.ac.jp/st/unv/chosakuken/>